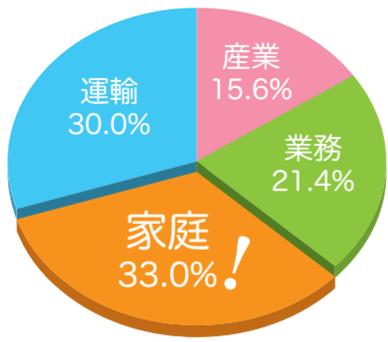


図 市内からの温室効果ガス排出割合
(排出部門別：平成27年度実績)



市では、温室効果ガス排出量を、2050年までに平成12年の50パ

一人ひとりの取り組みがカギ

果ガスは、平成20年7月に国から「環境モデル都市」に選定され、地球温暖化の防止に向けた温室効果ガスの大幅な削減目標を掲げ、市民、企業、大学、行政などが協力しながら削減の取り組みを進めています。

環境モデル都市おびひろ

近年、記録的な豪雨や猛暑などの異常気象が多発しています。これらの大きな要因の一つとして、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスによる地球温暖化が挙げられています。

問い合わせ 環境都市推進課(市庁舎8階、☎65・4135)



知っていますか? COOL CHOICE
「賢い選択」で地球に優しいまちに

帯広市は「環境モデル都市」として地球温暖化対策を進めています。日常生活の中で「賢い選択」COOL CHOICEを実践してみませんか。

1セント以下に減らすことを目標に掲げています。

市の特徴として、家庭部門からの温室効果ガスの排出量が年々増加してきて、その割合は全体の3割以上を占めています(図)。これは全国平均と比較しても、高い割合です。皆さんの日常生活の中で、地道な取り組みが目標達成に向けたカギとなっています。

賢い選択 COOL CHOICE

皆さんは「COOL CHOICE」という言葉を知っていますか。「COOL」は、「涼しい」という意味の他に、「賢い」という意味もあります。

COOL CHOICEは、環境省が中心となって進めていて、身近な生活の中で、買い物・サービス・行動などを選ぶ時、環境に優しいモノ、コトを選ぶ「賢い選択」をしていこうという国民運動です。

地球温暖化対策は、一人ひとりが身近な生活の中でできることから取り組むことが大切です。皆さんもCOOL CHOICEで、「賢い」暮らしを始めましょう。

クールチョイス 検索



公式ホームページ 公式フェイスブック



市庁舎でもグリーンカーテンで日差しを防いで省エネ

COOL CHOICEの取り組み

例えばこんな「賢い選択」があります
お財布や健康にやさしい取り組みも!

～未来のために、いま選ぼう～

- 省エネ家電を選択しよう (LED)
- ちょっとだけマイカー利用を自粛しよう
- マイバッグでレジ袋を減らそう
- ゴミを減らそう
- ふんわりアクセルでエコドライブ



アライグマの足跡 (農林水産省「野生鳥獣被害防止マニュアル」より)

アライグマってどんな動物?

- 暮らし 夜行性。水辺の近くを好み、寒さに強く、北海道の冬も問題なく過ごせる。
- すみか 樹洞の他、家屋の屋根裏や畜舎、物置、牧草ロールの間など。
- 食べ物 雑食性。果物、トウモロコシ、家畜飼料など。
- 見た目 タヌキと似ているが、尻尾がしま模様で顔は眉間に黒い線がある。体重は4〜10キログラムほどで、柴犬ぐらいの大きさ。歩いたあとに人の手足のような足跡が残る。

帯広市でも個体数が増えている
帯広市でのアライグマの捕獲頭数は、平成27年度まで年間1〜2

帯広市では、アライグマによる被害を防ぐため、アライグマに関する情報を集めています。アライグマを見かけたり、足跡を見つけたときは環境都市推進課に連絡してください。

目撃情報をお寄せください

アライグマは、もともと北米大陸からペットとして日本に輸入され、逃げ出したものが野生化し、増えたといわれています。アライグマは、建物をすみかにして汚すほか、雑食で繁殖力も強く急激に数を増やすため、農作物や水産物、家畜飼料、地域にもともといた動植物を食べるなど、農林水産業や自然環境、人の財産へ悪い影響をもたらすとして、特定外来生物に指定されています。

また、北海道にはアライグマの天敵となる生物がないことから、個体数の増加とさらなる被害の拡大が懸念されます。

アライグマ増加による悪影響

頭でしたが、平成28年度、平成29年度はともに16頭と近年急増しています。

問い合わせ 目撃情報、その他は環境都市推進課(市庁舎8階、☎65・4136)、農業被害に関する場合は農村振興課(市庁舎7階、☎65・4173)



アライグマにご用心
アライグマの生態と防除

帯広市 アライグマ 防止 検索